

令和2年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493100471	事業の開始年月日	平成30年6月1日
		指定年月日	平成30年6月1日
法人名	有限会社 フルライフ		
事業所名	グループホームフリージア		
所在地	( 〒234 -0056 ) 神奈川県横浜市港南区野庭町671-10		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和 3年3月10日	評価結果 市町村受理日	令和3年4月16日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

フリージアでは、入居者様の出来ることや、やりたいことを普段の生活の中から見極め、見つけ出せるように努めています。フルライフの基本方針でもある、ヒューマンイズムの精神で常に寄り添い、その方の尊厳を尊重し、その人らしい人生が送れる様に心のふれあいを大切にしています。毎月行われるお誕生日会は、誕生月の方のご家族をお呼びして、手作りケーキやダンス、歌、ゲーム等で大変盛り上がります。フラダンス、リトミックのボランティアの方々にも来所して頂き、皆で体を動かす楽しさを思い出しています。施設に入ると、どうしても運動不足になりがちで、運動不足になると、便秘や肥満、下肢筋力の衰え等、あまり体に良い事はありません。そこで、日頃の運動不足解消の為に少しでも簡単に身体を動かす、フラダンスやリトミックといったリズム体操を取り入れ、いつまでも元気で楽しい毎日を送れるようにサービスの提供をしています。しかし、昨年はコロナ禍のなか、事業所として様々なイベントを計画し入居者様に楽しんで頂きましたが、ご家族の参加については遠慮して頂いたこともあり、若干盛り上がりにかけたかも知れません。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和3年3月23日	評価機関 評価決定日	令和3年4月9日

新型コロナウイルス感染防止の観点から書類方式とする。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

**【事業所の優れている点】**  
◇地域に同化した施設の存在  
利用者は地域ケアプラザの催し物や地域のお祭り等に参加し、馴染の美容院に出かける利用者もいる。今年度はコロナ対応で地域行事がなく交流はできていないが、機会があれば挨拶や情報交換など地域との密着に努めている。  
◇食事に関する多様な取り組み  
食事はメニューと素材を業者が提供し、各フロア別に調理し提供している。一か月に3~4回通常と異なるお楽しみメニューを用意し、また、利用者の食べたいものを把握し、おやつレクや誕生日のお祝い時に反映している。文字を書くのが困難な利用者には、職員が口頭で聞き、体調不良、食欲不振の場合はソフト食や副食変更で対応している。

**【事業所が工夫している点】**  
◇ケアの質向上を目指す内部研修  
基本に戻って介護、接遇などに重点を置き、職員がリーダーになって毎月内部研修を行ない、ケアの質向上を目指している。認知症、身体拘束、ひやり・ハット報告、AED操作と心肺蘇生等もテーマにしている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム フリージア
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様とご家族の自己決定を尊重し、入居者様お一人お一人を、人として尊重し、その尊厳のある生活の継続を支援します。したい事、やりたい事を制限しない。	・理念の「挑戦」を事務所とリビングに掲示し、毎朝の申し送りで職員全員が唱和している。 ・理念の実践と利用者が自ら身体状況を維持するために可能なこと、職員が利用者のためできることは何かを、常に考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月第一金曜日、日限山地域ケアプラザへのパンカフェへ参加しています。地域の催しもの（お祭り等）がある時には数名で参加していましたが、コロナ禍の中で開催中止が継続中です。	・自治会に入会している。今年度はコロナ対応で地域行事はなく、ボランティア受け入れも中止している。 ・近くのスーパーへの買い物はコロナの様子を見ながら一人ずつ職員と出かけ、近隣の人と挨拶を交わし交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方との関わり方について、実践を通じ理解や支援の方法を身につけてきているが、地域の人々に向けて何を活かしているかは不明である。今年度はコロナ禍にあり、地域との連携も中止している状況です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度はコロナ禍にあり、会議も書面会議とさせて頂いています。また地域との連携も中止させて頂いている状況ですが、皆様のご意見は十分に取り込んで進めています。	・運営推進会議のメンバーは、家族代表、自治会長、民生委員、ケアプラザ職員、事業所管理者で構成し、2か月毎開催を基本としているが、今年度はコロナ対応で書面方式にしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	野庭地域ケアプラザ及び日限山地域ケアプラザのイベント等に参加し、グループホームの空き情報及びレクレーション等をお伝えしていますが、現在はコロナ禍の中で開催が中止されており、皆様残念がっています。	・区役所職員とは、書類、電話を中心に連携している。地域ケアプラザと、介護認定手続きや諸情報入手等、連携している。	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	認知症対応型共同生活介護の提供にあたり、事業者は契約者または他の利用者等の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き利用者に対し隔離、身体的拘束薬剤投与その他の方法により行動を制限しないケアに取り組んでいます。	・「身体拘束禁止マニュアル」があり、契約書、重要事項説明書、運営規定に身体拘束禁止規定を設けている。 ・身体拘束適正化委員会と内部研修を通じて重要性和対応方法を理解し、ケアに反映している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	野庭ケアホーム、職員研修にて「虐待防止」について学び、職員一人一人の意識を高める様心がけています。また、ご家族との会話等、些細な事からの「気付き」に注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様のなかに成年後見制度を利用されている方がいらっしゃるのので、制度については、日頃から勉強しながら支援に努めています。ただし、今年度はコロナ禍にあり、後見人さんも定期的に訪問されるのが難しい状況です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書及び契約事項については、ご理解を頂くまで説明し、納得頂き契約の締結を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様のご家族が来所された時には、近況報告も含め、ご意見やご要望をなるべく伺い、反映する様に努めておりますが、コロナ禍においては来所自体を制限させて頂いておりますので書面での対応となっております。	・コロナ対応で利用者家族の所内面会はできないが、テレビ電話、書面の機会に意見や要望を聞き、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロア会議やフロアー長会議において、入居者様のアセスメント等でも職員の意見を取り入れ、毎日の業務の中でも気が付いた時に随時意見を反映させております。	・管理者は、毎月のフロア会議で職員の意見や要望を聴取している。また、随時職員と面談し、意見や要望を把握している。 ・意見の反映事例：食事の炊飯等の準備を一か所から各階別に変更して対応し易くした。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力や勤務状況は把握いたしております。そしてできる限り向上心を持てる様、職場環境の整備は行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりのケアワーカーとしての力量を見極め、必要な研修、資格の習得が出来るよう努めております。頑張っているなど、こちらが思う職員は自らのスキルアップの為の研修を希望してきます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2か月に1回医療及び介護に関する講師を迎え勉強会を行っております。毎回色々な事で新しい発見があります。今年度はコロナ禍の中で開催を中止せざるを得ませんでした。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族の思いやご本人の困りごと、また、これからの意向をお聞きし、その思いに常に耳を傾け「ここで安心して生活することが出来る」と思ってもらえるための関係づくりをしています。		

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いや意向、そして困りごとを伺い、認知症介護がどんなに大変なものなのか、同調しながら耳を傾けています。そして、入所させる不安を払拭できる様、生活状況なるべく細かく説明しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	皆様、不安いっぱいに入所される為、入所時はなるべくベテラン職員が対応する様にしております。ケアマネジャーも含めて対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の意見を尊重し、一日の中の限られた時間の中で、どれだけ相手を思いやる気持ちが持てるか、食事を一緒にとりながら会話をし、どれだけ利用者様を理解する事が出来るのかを常に考え共に過ごしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族がいつでも来たい時に来られる、一寸の時間だけれど、顔を見て行きたくなる様な、一緒に支え合う関係になれば良いな、と思っております。しかし、コロナ禍の中、来所について制限せざるを得ない状況が続いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	連絡が来たり、連絡をとりたいと仰る方には支援させて頂いておりますが、施設側から積極的な支援は行っておりません。	・コロナ対応で知人等との所内面会はできないが、連絡したい場合は事業所が支援している。馴染みの場所（理美容店等）への外出もコロナ対応で行っていない。	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	殆どの方が、一日中フロアで皆様と一緒に過ごされる為、職員が一番気の使うところです。座る位置等、体調の変化にも気を配り、皆様が安心して暮せる様に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた方等、面会へ伺ったり、ご家族にご様子を伺うお電話を差し上げております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの希望や意向を把握する為に、その方との会話を心掛け、寄り添う気持ちで、職員間で知り得た事を共有する様に努めています。	・日常の会話、仕草、声の調子、表情等を通じて、利用者の思いや好みを把握している。 ・日々の申し送りやカンファレンスで、利用者の思いや意向について話し合い情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握が出来ないと、より良いサービスの提供は出来ないのではないかと思います。先ずはその方を知るところから始まります。個人ファイルにある入所前の聞き取りを熟読しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態を把握する為、職員間の申し送り及び、記録を行っております。皆でレクリエーションが好きな方、ゆっくりとテレビを観たい方、人それぞれですので、その方に合った一日の過ごし方を把握できるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間でのアセスメントは行っておりますが、ご家族、その他の関係者とのカンファレンスはなかなか行うことが出来ず、その都度意見を収集し、ケアマネジャーに報告している次第です。	・ケアカンファレンスでアセスメントシートと実践記録表（モニタリングシート）を参考にして介護計画を作成している。家族意見は電話、書面等を通じて把握している。 ・ケアプランを6か月ごとに見直し、途中に変化があれば随時見直し、家族の理解を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の記録を取っています。バイタル数値、食事摂取量、排泄等、職員間で情報を共有し、介護計画に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	18名それぞれの人生を歩んで来られ、生き方も考え方も多種多様です。少しでもそれぞれのご希望に添ったサービス提供が出来る様に努めて参りたいと思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歩行の安定している方には近所へのお買い物を楽しんで頂いていますが、コロナ禍の中で買い物等の外出の制限があり、皆様残念がっています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に施設の推奨する医師とお話して頂き、ご納得の上で訪問診療が開始となります。その後、2週間毎の訪問、カンファレンスと行い適切な医療を受けられるように支援しております。	・利用者全員が事業所の協力医をかかりつけ医としている。 ・内科医による隔週の訪問診療、歯科医による毎週の訪問診療がある。同法人の小規模多機能施設の看護師が毎日巡回している。協力医との24時間連携体制がある。	



自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2か月に1回医療及び介護に関する講師を迎え勉強会を行っております。毎回色々な事で新しい発見があります。現在はコロナ禍の中、中止せざるを得ない状況ですが、日々看護師との打ち合わせは行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	身寄りのない方、生活保護の方を含め、入退院時の医療機関との連携は全て行っております。入院時にはお薬を病院へ持参し、退院時にはどのような服用方法で戻ってきたのか、薬局との連携も図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に看取りについてのご意見を伺う事になりました。入所される時にご家族様は「終の棲家」と考え入所される方が殆どです。今は救急搬送する時に延命処置をするかしないか救急隊員から職員に聞かれます。その状況をご家族に説明して方針を共有していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時には医師の指示を確認し家族に伝えていく。家族の意見を確認しながら適切な対応を行っている。</li> <li>・申し送りノートへの記載、申し送りで職員間の情報共有を図り職員間の対応に齟齬が無いようにしている。</li> </ul>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	容態急変や事故発生時に備えて、救急時の対応マニュアルを作成している。入居者様の保険証情報、連絡先及び既往歴等を記した救急対応用個人記録も作成してあります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や業者の協力により、避難訓練を実施している。事業所内では年1回のペースで行っていく予定でしたが、コロナ禍のため、中止せざるを得ない状況でした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者全員が徒歩、車いすで参加し、夜間対応を含め年2回避難訓練を行っている。訓練では、大声発生、各所の状況確認等、消防署員からアドバイスを得ている。</li> <li>・食料、水、薬の1週間分備蓄、防災用品をリスト管理している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はその人その人の人格を尊重しながら言葉かけや会話を行っている。馴れ合いの言葉使いには注意をする様にしている。誇りやプライバシーの確保は居室が一人部屋の為出来ていると思います。	・接遇マナーを内部研修の重要テーマに掲げ職員研修を行い、成果として、基本に戻るという意識が職員に芽生え始めている。 ・利用者への言葉かけや対応等が不適切なときはその場で注意し、朝礼の際にも注意を喚起している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で自分の思いをお話出来る環境づくりをしている。隣に座ってスキンシップ等、何気ない事だが自分が必要とされている実感が希望に繋がると思っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の曜日や時間等、職員側だけの都合ではないですが、他の入居者様との兼ね合いを考慮するが故に、その方の希望に添えない事も多々あるのは事実ですが安全を第一に考えたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度訪問理美容をお願いしています。カットのみならず、ヘアカラーのご希望にもお答えしています。外出にはお好みのお洋服を着てお出かけになられていらっしゃいます。コロナ禍の中、思うように外出できない状態です。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	今まで、献立表については厨房のスタッフが作成していましたが、今回から食材提供の専門業者から取り寄せることにして、以前より提供できる種類が数多く確保できるようになりました。利用者様にも片付けを一緒にして頂いています。	・各階別に調理を行い食事を提供している。利用者の希望を聞き、おやつレク等に反映している。 ・体調不良、食欲不振の利用者には、おかゆ、ムース食、副食変更で対応している。おせち、ちらし寿司、などの行事食を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量や水分補給量、補給時間をお一人お一人記録しています。栄養バランスも専門の食材業者が検討済みで、その方に応じた食事形態（お粥、刻み、とろみ等）を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人一人の口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	お食事後は必ず口腔ケアを実施しています。義歯の方は義歯を外し、ご自分で出来る方はご自分で、出来ない方は職員が義歯のお手入れをしています。嚥下機能向上及び肺炎防止のためにも口腔ケアはとても大切なケアだと思っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人お一人への排泄のお声掛けを記録用紙を元に行っております。排泄の訴えは無くとも、それぞれ歩き出す様子が排泄のサインと言う方もいらしゃいます。車椅子の方も立位の取れる方は便座に座って頂き、なるべくオムツを汚す事の無い様にお声掛けをしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布パンツの使用者が数名おり、他はリハビリパンツを使用している。</li> <li>・排泄チェック表を活用して、適切なタイミングにトイレ誘導をし、自立に向けて支援している。</li> </ul>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一番の便秘の原因は運動不足と考え、日中出来る限り体を動かしてもらえる様、ラジオ体操やリズム体操を取り入れ、少しでも運動出来る環境を作っています。食べ物の工夫として、ヨーグルトや繊維質も取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日の指定（決まり）はありますが、本人の希望により、決まった日に入浴しなければ、他の日に変更し週2回はなるべく入浴されるよう促している次第です。お一人で入られる方は、お背中を流し、お声かけだけはさせて頂き、タイミングをみて上がって頂きます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回の入浴を基本とし、時間帯は利用者の希望に沿っている。</li> <li>・入浴を拒む利用者には、日時や職員を代えて対応している。</li> <li>・季節の柚子湯、菖蒲湯を提供している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠のタイミングは人それぞれです。今までの生活習慣等、他の入居者様と相違される方もいらっしゃいますが、夜は寝なければいけないという固定観念を外し、眠れない方とお話をする事でその後安心して休まれる方もいらっしゃいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2週間に1度訪問診療のカンファレンスが行われます。一人ひとりの最近の様子、残薬の確認及び報告を職員が行う為、常に入居者様の状態を観察し、把握しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌うことが好きな方、ギターを楽しむ方、字を書くことが好きな方、皆様それぞれ今まで楽しんで来た事を施設でも楽しんでいらっしゃいます。お掃除の好きな方はモップをかけたりにされています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員の付き添いが出来る時には、ドライブ及びお散歩を行い、ご家族が面会に来られた時には、一緒に外食等、お出掛けされていますが、コロナ禍の中では活動が制限されており、皆様残念がっています。	・天気、利用者体調、職員人数などの条件が整えば、近隣の公園に散歩に出かけている。ベランダでの外気浴を奨励している。 ・花見や、パンカフェなどに車で遠出をして楽しむ機会を設けている。	気分転換、体調維持のために、従来から行っている散歩、外気浴を今後も継続することが期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様ご本人での金銭管理は現状難しく、月に1度のケアプラザ主催のパンカフェに参加し、パンの購入をご自分で頂く事や、近所へのお買い物に同行する支援をしておりますが、コロナ禍で活動が制限されている状況です。		

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自宅へ電話をされたい方には、その支援を、お手紙を受け取られたり、お書きになられたい方にはその様な支援をさせて頂いております。お孫さんのお写真付[きはがきや年賀状もとても楽しみにされています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員と入居者様で、季節の行事を手作りで楽しんでいます。1月はお正月のお飾り（鏡餅等）2月は節分（鬼等）3月はひな祭りのお雛様作りといった感じで季節の移り変わりを楽しんでいます。	・共用空間は明るく清潔であり、トイレの防臭に配慮し、温湿度（22度、40%）を適切に維持している。 午前午後の2回窓を開け空気の入替えを行っている。 ・季節感を感じる作品、行事の写真等を掲示している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一日の過ごし方は皆様それぞれです。フロアで皆さんと一緒に喋るを楽しまれる方。テレビを観られる方、自室で一人でゆっくりとテレビを観られる方、ご自分のペースでお過ごし頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前からご家族の方とお話しになられ、どのテーブルを持ってこようか、本棚、サイドボード等悩まれている時には一番大切なもの、一番ご自分の生活を思い出せる様なものにはいかがですか、とお話しています。	・利用者は馴染みの家具などを持ち込み、居心地よい居室にしている。 車いすの場合は動線を考慮して家具を配置している。 ・職員が毎日清掃し清潔を維持し、コロナ禍以降は家族に代わり職員が季節の衣類入れ替えをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、フロア内は手すりが付いて歩行訓練も行っています。車椅子用のトイレでも出来る限りご自分で出来る事はやって頂き、転倒に注意して見守りを行っています。		

事業所名	グループホーム フリージア
ユニット名	3F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
		○	4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様とご家族の自己決定を尊重し、入居者様お一人お一人を、人として尊重し、その尊厳のある生活の継続を支援します。したい事、やりたい事を制限しない。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月第一金曜日、日限山地域ケアプラザへのパンカフェへ参加しています。地域の催しもの（お祭り等）がある時には数名で参加していましたが、コロナ禍の中で開催中止が継続中です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方との関わり方について、実践を通じ理解や支援の方法を身につけてきているが、地域の人々に向けて何を活かしているかは不明である。今年度はコロナ禍にあり、地域との連携も中止している状況です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度はコロナ禍にあり、会議も書面会議とさせて頂いています。また地域との連携も中止させて頂いている状況ですが、皆様のご意見は十分に取り込んで進めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	野庭地域ケアプラザ及び日限山地域ケアプラザのイベント等に参加し、グループホームの空き情報及びレクレーション等をお伝えしていますが、現在はコロナ禍の中で開催が中止されており、皆様残念がっています。		

自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	認知症対応型共同生活介護の提供にあたり、事業者は契約者または他の利用者等の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き利用者に対し隔離、身体的拘束薬剤投与その他の方法により行動を制限しないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	野庭ケアホーム、職員研修にて「虐待防止」について学び、職員一人一人の意識を高める様心がけています。また、ご家族との会話等、些細な事からの「気付き」に注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様のなかに成年後見制度を利用されている方がいらっしゃるのので、制度については、日頃から勉強しながら支援に努めています。ただし、今年度はコロナ禍にあり、後見人さんも定期的に訪問されるのが難しい状況です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書及び契約事項については、ご理解を頂くまで説明し、納得頂き契約の締結を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様のご家族が来所された時には、近況報告も含め、ご意見やご要望をなるべく伺い、反映する様に努めておりますが、コロナ禍においては来所自体を制限させて頂いておりますので書面での対応となっております。		



自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロア会議やフロアー長会議において、入居者様のアセスメント等でも職員の意見を取り入れ、毎日の業務の中でも気が付いた時に随時意見を反映させております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力や勤務状況は把握いたしております。そしてできる限り向上心を持てる様、職場環境の整備は行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりのケアワーカーとしての力量を見極め、必要な研修、資格の習得が出来るよう努めております。頑張っているな、とこちらが思う職員は自らのスキルアップの為の研修を希望してきます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2か月に1回医療及び介護に関する講師を迎え勉強会を行っております。毎回色々な事で新しい発見があります。昨年はコロナ禍の中で開催を中止せざるを得ませんでした。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族の思いやご本人の困りごと、また、これからの意向をお聞きし、その思いに常に耳を傾け「ここで安心して生活することが出来る」と思ってもらえるための関係づくりをしています。		

自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いや意向、そして困りごとを伺い、認知症介護がどんなに大変なものなのか、同調しながら耳を傾けています。そして、入所させる不安を払拭できる様、生活状況なるべく細かく説明しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	皆様、不安いっぱいに入所される為、入所時はなるべくベテラン職員が対応する様にしております。ケアマネジャーも含めて対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の意見を尊重し、一日の中の限られた時間の中で、どれだけ相手を思いやる気持ちが持てるか、食事を一緒にとりながら会話をし、どれだけ利用者様を理解する事が出来るのかを常に考え共に過ごしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族がいつでも来たい時に来られる、一寸の時間だけれど、顔を見て行きたくなる様な、一緒に支え合う関係になれば良いな、と思っております。しかし、コロナ禍の中、来所について制限せざるを得ない状況が続いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	連絡が来たり、連絡をとりたいと仰る方には支援させて頂いておりますが、施設側から積極的な支援は行っておりません。		

自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	殆どの方が、一日中フロアで皆様と一緒に過ごされる為、職員が一番気の使うところです。座る位置等、体調の変化にも気を配り、皆様が安心して暮せる様に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた方等、面会へ伺ったり、ご家族にご様子を伺うお電話を差し上げております。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの希望や意向を把握する為に、その方との会話を心掛け、寄り添う気持ちで、職員間で知り得た事を共有する様に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握が出来ないと、より良いサービスの提供は出来ないのではないかと思います。先ずはその方を知るところから始まりますので、個人ファイルにある入所前の聞き取りを熟読しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態を把握する為、職員間の申し送り及び、記録を行っております。皆でレクリエーションが好きな方、ゆっくりとテレビを観たい方、人それぞれですので、その方に合った一日の過ごし方を把握できるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間でのアセスメントは行っておりますが、ご家族、その他の関係者とのカンファレンスはなかなか行うことが出来ず、その都度意見を収集し、ケアマネジャーに報告している次第です。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の記録を取っています。バイタル数値、食事摂取量、排泄等、職員間で情報を共有し、介護計画に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	18名それぞれの人生を歩んで来られ、生き方も考え方も多種多様です。少しでもそれぞれのご希望に添ったサービス提供が出来る様に努めて参りたいと思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歩行の安定している方には近所へのお買い物を楽しんで頂いていますが、コロナ禍の中で買い物等の外出の制限があり、皆様残念がっています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に施設の推奨する医師とお話をして頂き、ご納得の上で訪問診療が開始となります。その後、2週間毎の訪問、カンファレンスと行い適切な医療を受けられるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2か月に1回医療及び介護に関する講師を迎え勉強会を行っております。毎回色々な事で新しい発見があります。現在はコロナ禍の中、中止せざるを得ない状況ですが、日々看護師との打ち合わせは行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	身寄りのない方、生活保護の方を含め、入退院時の医療機関との連携は全て行っております。入院時にはお薬を病院へ持参し、退院時にはどのような服用方法で戻ってきたのか、薬局との連携も図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に看取りについてのご意見を伺う事になりました。入所されるときにご家族様は「終の棲家」と考え入所される方が殆どです。今は救急搬送する時に延命処置をするかしないか救急隊員から職員に聞かれます。その状況をご家族に説明して方針を共有していきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	容態急変や事故発生時に備えて、救急時の対応マニュアルを作成している。入居者様の保険証情報、連絡先及び既往歴等を記した救急対応用個人記録も作成してあります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や業者の協力により、避難訓練を実施している。事業所内では年1回のペースで行っていく予定でしたが、コロナ禍のため、中止せざるを得ない状況でした。		

自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はその人その人の人格を尊重しながら言葉かけや会話を行っている。馴れ合いの言葉使いには注意をする様にしている。誇りやプライバシーの確保は居室が一人部屋の為出来ていると思います。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で自分の思いをお話出来る環境づくりをしている。隣に座ってスキンシップ等、何気ない事だが自分が必要とされている実感が希望に繋がると思っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の曜日や時間等、職員側だけの都合ではないですが、他の入居者様との兼ね合いを考慮するが故に、その方の希望に添えない事も多々あるのは事実ですが安全を第一に考えたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度訪問理美容をお願いしています。カットのみならず、ヘアカラーのご希望にもお答えしています。外出にはお好みのお洋服を着てお出かけになられていらっしゃいます。コロナ禍の中、思うように外出できない状態です。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	今まで、献立表については厨房のスタッフが作成していましたが、今回から食材提供の専門業者から取り寄せることにして、以前より提供できる種類が数多く確保できるようになりました。利用者様にも片付けを一緒にして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量や水分補給量、補給時間をお一人お一人記録しています。栄養バランスも専門の食材業者が検討済みで、その方に応じた食事形態（お粥、刻み、とろみ等）を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人一人の口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	お食事後は必ず口腔ケアを実施しています。義歯の方は義歯を外し、ご自分で出来る方はご自分で、出来ない方は職員が義歯のお手入れをしています。嚥下機能向上及び肺炎防止のためにも口腔ケアはとても大切なケアだと思っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人お一人への排泄のお声掛けを記録用紙を元に行っております。排泄の訴えは無くとも、そわそわ歩き出す様子が排泄のサインと言う方もいらしゃいます。車椅子の方も立位の取れる方は便座に座って頂き、なるべくオムツを汚す事の無い様にお声掛けをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一番の便秘の原因は運動不足と考え、日中出来る限り体を動かしてもらえる様、ラジオ体操やリズム体操を取り入れ、少しでも運動出来る環境を作っています。食べ物の工夫として、ヨーグルトや繊維質も取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日の指定（決まり）はありますが、本人の希望により、決まった日に入浴しなければ、他の日に変更し週2回はなるべく入浴されるよう促している次第です。お一人で入られる方は、お背中を流し、お声かけだけはさせて頂き、タイミングをみて上がって頂きます。		

自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠のタイミングは人それぞれです。今までの生活習慣等、他の入居者様と相違される方もいらっしゃいますが、夜は寝なければいけないという固定観念を外し、眠れない方とお話をする事でその後安心して休まれる方もいらっしゃいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2週間に1度訪問診療のカンファレンスが行われます。一人ひとりの最近の様子、残薬の確認及び報告を職員が行う為、常に入居者様の状態を観察し、把握しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌うことが好きな方、ギターを楽しむ方、字を書くことが好きな方、皆様それぞれ今まで楽しんで来た事を施設でも楽しんでいらっしゃいます。お掃除の好きな方はモップをかけたりにされています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員の付き添いが出来る時には、ドライブ及びお散歩を行い、ご家族が面会に来られた時には、一緒に外食等、お出掛けされていらっしゃいましたが、コロナ禍の中では活動が制限されており、皆様残念がっています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様ご本人での金銭管理は現状難しく、月に1度のケアプラザ主催のパンカフェに参加し、パンの購入をご自分で頂く事や、近所へのお買い物に同行する支援をしております。コロナ禍の中で活動が制限されており皆様残念がっています。		



自己評価	外部評価	項目	2Fフリージア 自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自宅へ電話をされたい方には、その支援を、お手紙を受け取られたり、お書きになられたい方にはその様な支援をさせて頂いております。お孫さんのお写真付きはがきや年賀状もとても楽しみにされています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員と入居者様で、季節の行事を手作りで楽しんでいます。1月はお正月のお飾り（鏡餅等）2月は節分（鬼等）3月はひな祭りのお雛様作りといった感じで季節の移り変わりを楽しんでいます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一日の過ごし方は皆様それぞれです。フロアで皆さんと一緒にお喋りを楽しまれる方。テレビを観られる方、自室で一人でゆっくりとテレビを観られる方、ご自分のペースでお過ごし頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前からご家族の方とお話合いになられ、どのテーブルを持ってこようか、本棚、サイドボード等悩まれている時には一番大切なもの、一番ご自分の生活を思い出せる様なものにはいかがですか、とお話しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、フロア内は手すりが付いて歩行訓練も行っています。車椅子用のトイレでも出来る限りご自分で出来る事はやって頂き、転倒に注意して見守りをしています。		

# 目標達成計画

事業所名 グループホーム フリージア

作成日 令和3年 4月 6日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	*介護サービスについて利用者・家族がどのくらい満足しているかの確認が不足している。	昨年はコロナ禍の中で、ご家族参加のモニタリングが実施されなかったため、コロナ終息後は、順次ご家族参加でのモニタリングを実施する。	*コロナ禍の中で、ご家族の訪問を遠慮して頂いており、ご家族の意向が電話での確認のため十分に把握されていない。	4/1～9/30
		*利用者に対するモニタリングは直接あるいはスタッフを通して行うことも可能だが、中にはコミュニケーションの取れない方もいらっしゃる。		*根気よく時間をかけてご本人の思い、そして何を望んでいるのかを引き出すことが大事である。	4/1～9/30
		*ご家族を含めたモニタリングの実施が、コロナ禍のため行われず、ご家族の満足度の把握ができていない。		*順次、ご家族とモニタリング実施についての連絡をとり、ご家族の満足度について確認し日々の支援につなげる。	4/1～9/30
2	49	*入居者の希望にそっての外出支援活動が十分に行われていない。	*入居者の希望にそっての外出支援活動（散歩、ドライブ、お買物等）を実施する。	*天候、体調および職員のシフトの調整が取れた場合に実施し、少人数での行動を心掛けている。	4/1～9/30
3	13	*職員を育てる取り組みの一環として、各職員の事業所内外における言動に対し指導をしているが行動が伴わない職員がいる。	*事業所内外における適切な言動について学び、事業所内および地域において信頼される職員となる。	*毎月の社内研修のなかで、「職場での基本的な心得について」「さわやかな応対・応接について」等、社内方針に従って教育・指導を行う。	4/1～9/30
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。